

2023. 8.25.

「帰国小学生英語保持講座」言語学博士 服部孝彦 教授 特別授業 2023.11.25. (November 25)  
親子で取り組む、子どもの英語発話力を引き出す写真描写法

大妻中野中学校・高等学校では、18年目を迎える「帰国小学生のための英語保持講座」を毎週土曜日に、無料で実施しています。この講座は、本校のアメリカ人専任教諭が、帰国小学生の英語力、保持・伸長のために本校の帰国生英語教育の取り組みの知見を生かして行っているものです。楽しいアクティビティだけでなく、アカデミックな内容のものを讀んだり、ディスカッションを行ったり、プレゼンテーションを行ったりしています。

11月25日(土)は本校 Open Day に合わせて、JOES の英語保持教室でもおなじみの言語学博士・大妻女子大学大学院教授、服部孝彦先生(本校のグローバル教育・英語教育のスーパーバイザー)による特別授業を行います。



服部孝彦先生による特別授業 - 親子で取り組む、子どもの英語発話力を引き出す写真描写法

授業日時: 2023年11月25日(土)11:50~12:40 本校英語室

対象: 本校の帰国小学生英語保持講座受講生とその保護者(一緒に参加ください)。また、今回は、受講生でなくても参加できます。参加希望の方は、本校グローバル・センターに保護者・お子さんのお名前、現在の在籍小学校、学年、メールアドレスを記し、お申込み下さい。この特別授業は対面授業ですが、オンライン(ZOOM)参加も可能です。

申込先: [global@otsumanakano.ac.jp](mailto:global@otsumanakano.ac.jp) 締切: 11月11日(早めの申込をどうぞ)

**\* なお、通常の帰国小学生英語保持講座へのお申込みも大歓迎です。上記までメールをお願いします**

帰国子女の英語スピーキング力は、日本に帰国したとたん、急速に衰えます。親子で出来る、子どものための簡単な英語スピーキング力保持の勉強法に写真描写法というものがあります。写真を使った英語スピーキング練習では、描写力と物語を語る力の両方を育成することができます。描写とは、人、もの、情景、感情などを、言葉を使って浮かび上がらせることで、5W1Hが大切となります。5W1Hを使って豊かに描写しながら、聞き手があたかもその情景をイメージできるよう、流れをもって英語スピーキングをする力は、物語を語る力です。情景や特徴を出来るだけ説明した後、その写真に写った人物がどのように感じているかといった心理描写を足していきます。写真を描写するだけで脳が刺激され、その結果、英語スピーキング力育成に役立ちます。写真描写は TOEIC® の S&W テストなどの、ハイクラスな世界規模の英語検定試験で多く使われていますが、それは英語表現力を測定するための適切な方法だからです。

親子でこの講座に参加され、英語を使った写真描写を楽しみながら、お子さんの英語スピーキング力保持にお役立て下さい。この特別講義の講師の服部孝彦博士は、アメリカの大学及び大学院での言語学、応用言語学、および英語教育学の教授経験のある第二言語習得と第二言語喪失研究の第一人者です。

[講師紹介]

大妻女子大学・大学院教授、言語学博士、大妻中野中学高等学校 英語教育・グローバル教育アドバイザー

服部孝彦(はっとり・たかひこ)先生

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士(Ph.D.)。米国ケンタッキー州立ムレー大学(MSU)大学院客員教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、JSAF-IELTS アカデミック・スーパーバイザー、元 NHK 英語教育番組講師。文部科学省 SGH や WWL 等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍している。著書に文部科学省検定中学および高校英語教科書他、著書 202 冊、学術誌発表論文 155 編、学会発表論文 206 編、教育誌執筆記事 497 編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計 1,280 回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を頻りに往復しながら、米国の大学での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。

以上

## 大妻中野 帰国小学生英語保持講座 受講生のメッセージ

### 2021年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 2年 手塚 まりこさん

両親から大妻中野のホームページに帰国小学生英語講座があることを聞き、当時、小学6年生の私は、すぐに始めたい、と自分から申し出ました。アメリカから帰国後、公立の小学校にいた私は英語を話す機会が無く、英語に飢えていたのだと思います。緊張しながらクラスに入ると、先生がとても優しく、フランクに話しかけてくださり、すぐにクラスに馴染むことができました。このクラスでは皆が意見をもち、お互いを認め合う環境が整っていたのでとても居心地の良い場所に感じました。この講座を受けたことで帰国後の英語能力維持に、とても効果があったと感じています。クラスの友人達とそしてユニークな先生と、授業だけでなくバスケットボールやゲームをしたり、またハロウィンやバレンタインなどの行事も楽しんだりと心に残る思い出はたくさんあります。興味深い授業もあり、テイラー・スウィフトの曲を聴きながらディクテーションをしたことなどです。音楽を聴きながら単語を理解するこのスタイルは、当時の私にとってとても斬新で記憶に残っています。



### 2022年度本校卒業 ICU 国際基督教大学 教養学部 進学 玉川 華蓮さん

私は小学校 5 年生の 2 学期に日本へ帰国し、中学受験を意識し始めました。帰国生を多く受け入れている学校を受験しようと思い、両親と共に学校選びをしていく中で大妻中野を見つけ、「帰国小学生英語講座」の存在を知りました。この講座は毎週土曜日に開催され、実際に大妻中野で英語の授業を担当されているネイティブの先生が授業を行って下さいました。毎週通うことで、学校や生徒さんの雰囲気を知ることが出来、いつも学校の生徒さんが小学生の私にも笑顔で挨拶してくれたことが印象的でした。入学する前から学校の雰囲気を間近で知れるというのは、この講座を受講する一番の魅力だと思います。私がこの講座で一番印象に残った授業は、グループで行ったプレゼンテーションです。初対面の子とグループになり、図書室で本を借りてリサーチを行い、フィルムの仕組みについて発表しました。初対面の人と共に協力し、発表することで、主体性や協調性、発信力など、新たなスキルを磨くことが出来たと思います。

**AMAZING!**

### 2022年度本校卒業 東北大学 農学部 進学 増田 愛さん

私は3才から6才までオーストラリアで過ごしました。英語を忘れないようにと、両親の勧めで、小学4年生からこの大妻中野の帰国小学生英語講座に通い始めました。帰国してすぐのハイレベルな友達に気後れすることもありましたが、ネイティブの先生や周りの友達がフレンドリーに接してくれたので、だんだんと積極的に英語を話せるようになりました。また、英語を使ったさまざまなアクティビティーは英語に親しむ良い機会でした。特に、みんなでドッチボールをしたことやパーティーをしたことをよく覚えています。楽しみながら英語を使うことで、より自然な英語が身につくようになったと思います。この講座に参加し、英語に触れる機会が増えたことは、その後の大妻中野の学校生活でとても役立ちました。



### 2023年度 本校高校3年 グローバルリーダーズ・コース在籍 T. W. さん

小学5年生の時から大妻中野に興味があり、両親にも調べてもらっていたのですが、帰国後(小学六年生の春)、ホームページに帰国小学生英語講座のことが書いてあるのを見つけ、受講しました。両親が私に勧めた形ではありましたが、私自身も、毎週大妻中野に通えることで雰囲気が感じられたり、もし実際に入学することになった時の友達ができたりすることもあるとあって、受講を決めました。講座を担当して下さっているネイティブの先生がとてもフレンドリーで、毎週楽しく通っていました。当時、私は英語の塾に通っていましたが、日本人の先生に教わっていたため、ネイティブの先生から教えていただけるのがとても新鮮で、海外のインターナショナルスクールで学んでいるような感覚でした。この講座では主に、自分のレベルのあった海外の教科書を使用して、それぞれのグループに分かれて、ディスカッション。いろいろな人の意見が聞けて良い刺激になったのを覚えています。みんなが帰国子女なので、気軽に話せますし、本当にインターナショナルスクールで勉強しているようでした。アクティブにプレゼンテーションをする機会やパーティーなどもあって、とても楽しく通っていました。

### 2022年度 小学6年生 C.F.さん 保護者

北米からの帰国後、英語力の保持のために海外帰国子女教育財団が行っている保持教室に通っておりました。そこで、保持教室の監修をされている服部先生の講演を聞く機会があり、服部孝彦先生の帰国子女の強みを活かして育てていく教育論に感銘を受けていました。その後、大妻中野の帰国小学生英語講座に娘を通わせています。この講座では、ありのままの自分を受け止めてもらったのが親子共に有り難く感謝しております。